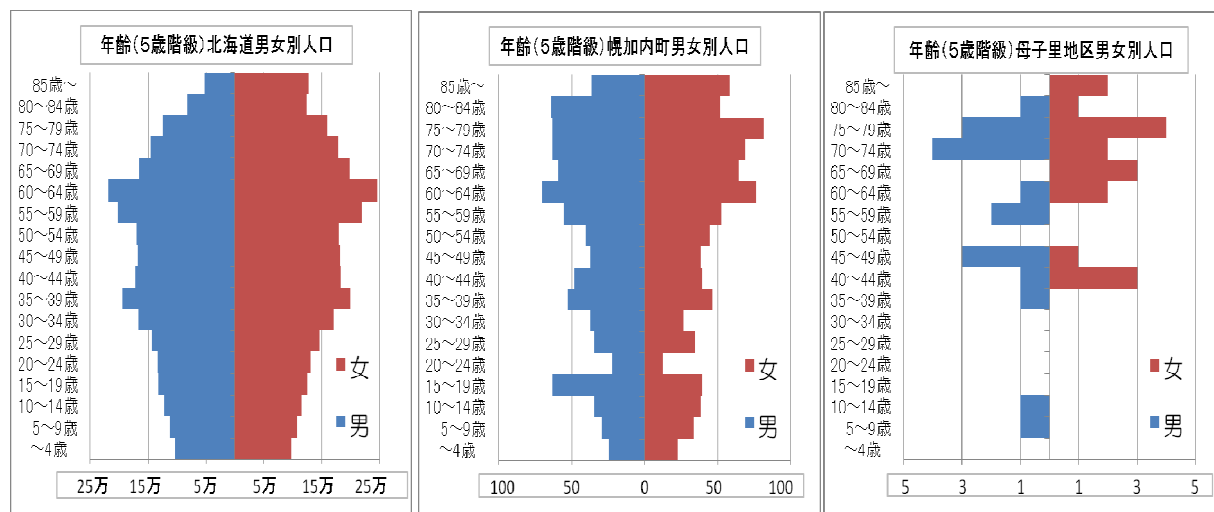


母子里地区における集落の状況について

1 母子里地区の概況（年齢5歳階級及び男女別人口の状況）



※出典：北海道（H22 国勢調査）幌加内町・母子里地区（H25.5.31 現在住民基本台帳）

※10年後には高齢化が更に進み、集落機能の低下の深刻化が懸念される。

2 主な課題

- 高齢化対策（買い物や通院への対応、地域における高齢者の役割の検討）
- 地域リーダーの育成（地域の担い手となる人材の不足及び意識の醸成）
- 産業振興（後継者不足、就労の場の確保）
- 集落のつながり（住民同士が集い、話し合う場や機会の減少）

3 検討の方向性

- 母子里地区の将来像の検討（10年後の目指すべき姿）
 - ・人口減少や高齢化の進行を見据えた母子里地区の今後のあり方
 - ・住民同士の「絆」（交流の場、高齢者の生きがいづくり など）
- 日常の交通手段や地域の担い手の確保
 - ・地域にとって相応しい公共交通のあり方についての検討
 - ・冠婚葬祭や町内会活動など地域コミュニティの活性化
 - ・母子里地区を支える人材の育成・確保
（NPO、地域おこし協力隊など外部組織や人材との連携強化）
- 産業の創出
 - ・地域資源の活用による特産品づくり、地域外との交流促進